

「頑張る地方応援懇談会 in 滋賀」議事概要

1 日 時 平成19年3月11日（日） 13:30～15:45

2 場 所 明日都浜大津 大津市ふれあいプラザ 4階 ホール
大津市浜大津4丁目1番1号

3 出席者

【市町村長】	め かた まこと おおつしちよう 目 片 信 大津市長
	かわ しま のぶ や ながはましちよう 川 島 信 也 長浜市長
	ふ じ た に えい しょう おうみはちまんしちよう 富士谷 英 正 近江八幡市長
	やま だ のぶ ひろ もりやましちよう 山 田 亘 宏 守山市長
	たに はた えい ご こなんしちよう 谷 畑 英 吾 湖南市長
	ひら お みち お まいばらしちよう 平 尾 道 雄 米原市長
	やま ぐち き よ じ りゆうおうちようちよう 山 口 喜代治 竜王町長
	おお の わ さ ぶ ろ う とよさとちようちよう 大 野 和 三 郎 豊郷町長
	なつ はら さ と ろ う たがちようちよう 夏 原 覚 多賀町長
	きた むら また ろ う たかつきちようちよう 北 村 又 郎 高月町長
【総務省】	おお の まつ しげ 総務副大臣 大 野 松 茂
	おか もと たもつ 自治財政局長 岡 本 保
	わた なべ ひで き 自治行政局地域振興課長 渡 辺 秀 樹
	いな やま ひろ し 自治行政局公務員部給与能率推進室長 稲 山 博 司
	よね だ こういちろう 自治税務局都道府県税課長 米 田 耕 一 郎
	くり はら みち たか 近畿総合通信局情報通信部長 栗 原 道 隆

4 次 第

- (1) あいさつ
 - ① 大野松茂 総務副大臣
 - ② 目片 信 大津市長
- (2) 総務省からの説明
 - ① 頑張る地方応援プログラムについて
 - ② 地方行財税制上の諸課題等について
- (3) 意見交換

5 要 旨 〔主な意見〕

(1) 市町村長

- ・本来なら、県内の全市長、全町長が出席して、それぞれの思いを総務省にぶつけられ、地方の悩みをご理解いただけたらと思う。
- ・小学校区単位のまちづくり『結の湖都大津』の実現に向け取り組んでいる。
- ・労働力のミスマッチの解消が課題。高学歴の者の働く場所を確保したいが困難。外国企業の誘致を進めているが結実していない。一方、工場労働者については人手不足。
- ・小学校からの英語教育の取組、京大医学部と連携し遺伝子レベルでの長期住民健康調査プログラムなどに取り組んでいる。
- ・平成13、14年度の指標と平成16、17年度の指標を比較して、頑張っているか否かをいきなり比較されると、少し違和感を感じる。
- ・甲乙つけず、ある程度平等に配分してほしい。支援額をもっと増やしてほしい。プロジェクト支援についての対象事業を拡充してほしい。今後、地方交付税以外での支援の検討をお願いしたい。
- ・企業立地の促進のためには農地の有効利用が必要。したがって、可能な限り転用を認めていただきたい。このことが都市と地方の格差をなくす最大の近道だと思っている。
- ・水郷保存事業及びそのための環境協力金の徴収を行っている。
- ・人口増加に伴う大規模校解消を学校区の自由化で対応したいが、バスが必要であり苦慮している。
- ・市立高校を私立高校に移管したら普通交付税が減額となった。しかし、交付税の算定方法が解りにくいので、減額がこの移管分だったのか不明。
- ・国で新しく決めた事項について、我々は県を通じてしかわからない。しかし、熱意のない県職員がいる場合、説明を受けても何のこともさっぱりわからない。東京へ1週間、300団体ずつ集めれば直接説明を聞くことができ、理解が深まる。あるいは、国から県へ施策を説明する際には、同時に市町村にも直接説明してほしい。
- ・市外に働きに行く住民が多く住んでいるので、税収につながらず、各種行政サービスの歳出増につながっている。しかし、これら住民の生活もしっかり支えているので、そういう頑張りについても見てほしい。
- ・障害者の就労支援など先進的に取り組んでいるので、手厚く支援してほしい。そうしないと、今後このような先進的な施策に取り組んでいこうとする団体に対してインセンティブが働かなくなる。
- ・南米系外国人労働者の増加に伴い、教育現場で混乱しているが、派遣業者から無償で通訳を小中学校に派遣してもらい対応している。

- ・地域独自の施策は自前で対応するのが原則。そこから発信して、全国的な施策につなげていき、全国的にみてメリットがある取り組みについては、しっかり対応してほしい。
- ・合併の効果を市民に実感してもらおう一環として、「放課後子供安心プラン」に取り組んでいる。
- ・市民は市の財政力を見通している。「市長は頑張るけど誰が応援してくれるんだ。市民だけが応援するのか」と言われたときに、「国も県も一緒に同じ方向を向いて頑張っている」と言えるようにしていただきたい。
- ・幾つかのプロジェクトを示していただいたので、実施できるものはどんどん実施したいが、市民の支援が得られる形で実施していきたい。それには「国も支援している」というバックボーンが必要だ。
- ・合併のメリットを具体的にわかりやすく説明してほしい。
- ・合併により地域が埋没しないようにしてほしい。次の時代に地域の良さを引き継ぐための基盤を残してほしい。地域が自立するための一定の公共投資をお願いしたい。
- ・少子化対策は、小さな町では大変難しい問題なので、国で支援・指導していただきたい。
- ・我が町は都市計画法上、「農林業以外は宅地にはいけない」となっており、その結果、人口が隣の市に流出している。この不公平を是正してほしい。
- ・教育に力を入れても皆都会に行ってしまう。自分のまちを過疎化するために教育に力を入れているかのように感じざるを得ない。そこで、課の中にUターンハローワークを設置したり、Uターン者への補助金の検討など、Uターン運動に力を入れている。

(2) 総務省

- ・様々な条件、厳しい条件の中にありながら、極めて意欲的に対応していただいていることに心から敬服を申し上げたい。
- ・皆様の事情をお聞かせいただき、それをプログラムに反映することにより、皆様方に張り合いを持っていただこうと考えている。
- ・各自自治体における様々なプロジェクトについて、総務省で「あれが良い、これが悪い」ということを決めるのではなく、一定の公表手続き等を踏まえたものについて、1市町村につき単年度3千万円、3年間の特別交付税措置を講じようというものである。
- ・企業立地などの頑張りの結果、税収は増えるが普通交付税は減ってしまう、というご指摘については、減収補てん措置及び増収した一定割合を特別交付税において算定する。

- ・先進的に取り組んでいるものについては、特別な財政需要として個別にお話しをお聞かせいただきたい。
- ・交付税の算定が複雑でわかりにくいという意見がある。一つ一つの積算は複雑ではないと思うが、それが幾つもあるので難しいという印象を与えてしまっている。我々もわかりやすい説明に努めたい。
- ・少子化対策については、文部科学省、厚生労働省とも連携し、交付税措置を相当充実させた。また、直接使っていただけるような具体的な算定方法もお示ししている。
- ・各省庁が、地方公共団体に対して新しい事務を課すが、それに対する財源措置がない、という指摘があるが、各省との折衝の中で自治財政局をはじめ各部局でチェックをしている。しかし、具体的に困っていることがあれば話しを聞かせていただきたい。それらを積み重ねることにより、これから始まる地方分権の議論において、国民にもわかりやすい議論になると思う。
- ・市町村合併のメリットについては、住民にもよくわかるよう、国や県も意を払いたい。
- ・秋以降の税制の抜本的な改革の議論の中で、いかに市町村が自立できる税制を構築するかが大事であり、我々の役目だと思っている。

(以 上)

